

はじめてでも
簡単に作れる!
シリーズ

写真付きで簡単組立!!

自作パソコン 組立マニュアル



商品コード: 148722



組立からBIOS(UEFI)設定
Windowsのインストールまで

Dospara
COMPUTER SHOP ドスパラ

1. 商品構成..... 4

① 自作パソコンに必要なパーツ(例).....	4
② 別途ご用意いただくもの.....	4
③ 各パーツの取り付け場所(例).....	5

2. 組み立て準備..... 6

3. 組み立て..... 9

① ケースのサイドパネルを開ける.....	9
② ケースの付属品を確認する.....	10
③ ケースに電源を取り付ける.....	11
④ CPUをマザーボードに取り付ける.....	13
⑤ CPUクーラーをマザーボードに取り付ける.....	17
⑥ メモリをマザーボードに取り付ける.....	21
⑦ マザーボードをケースに取り付ける.....	22
⑧ 光学ドライブをケースに取り付ける.....	26
⑨ HDD/SSDをケースに取り付ける.....	29
⑩ HDD/SSD/光学ドライブに電源ケーブルを接続する.....	31
⑪ HDD/SSDとマザーボードをSATAケーブルで接続する.....	34
⑫ マザーボードに前面パネル用ケーブルを接続する.....	37
⑬ 光学ドライブとマザーボードにSATAケーブルを接続する.....	41
⑭ ケース内部と背面のケーブルを縛る.....	43
⑮ ビデオカードを取り付ける.....	45
⑯ 完成写真.....	47

⑰ キーボード・マウス・電源ケーブル・モニタの接続	48
⑱ ケースのサイドパネルを閉じる	49
⑲ トラブルシューティング	50

4. UEFI (BIOS) 設定	51
--------------------------------	-----------

5. OS (Windows 10 64bit) インストール	56
--	-----------

6. ドライバインストール	60
----------------------------	-----------

7. OS・Dirext Xアップデート	62
-----------------------------------	-----------

9. サポート・お問い合わせ先	64
------------------------------	-----------

商品構成

① 自作パソコンに必要なパーツ(例)



CPU



CPUクーラー



マザーボード



メモリ



SSD



HDD



光学ドライブ



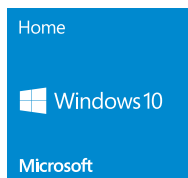
ビデオカード



PCケース



電源



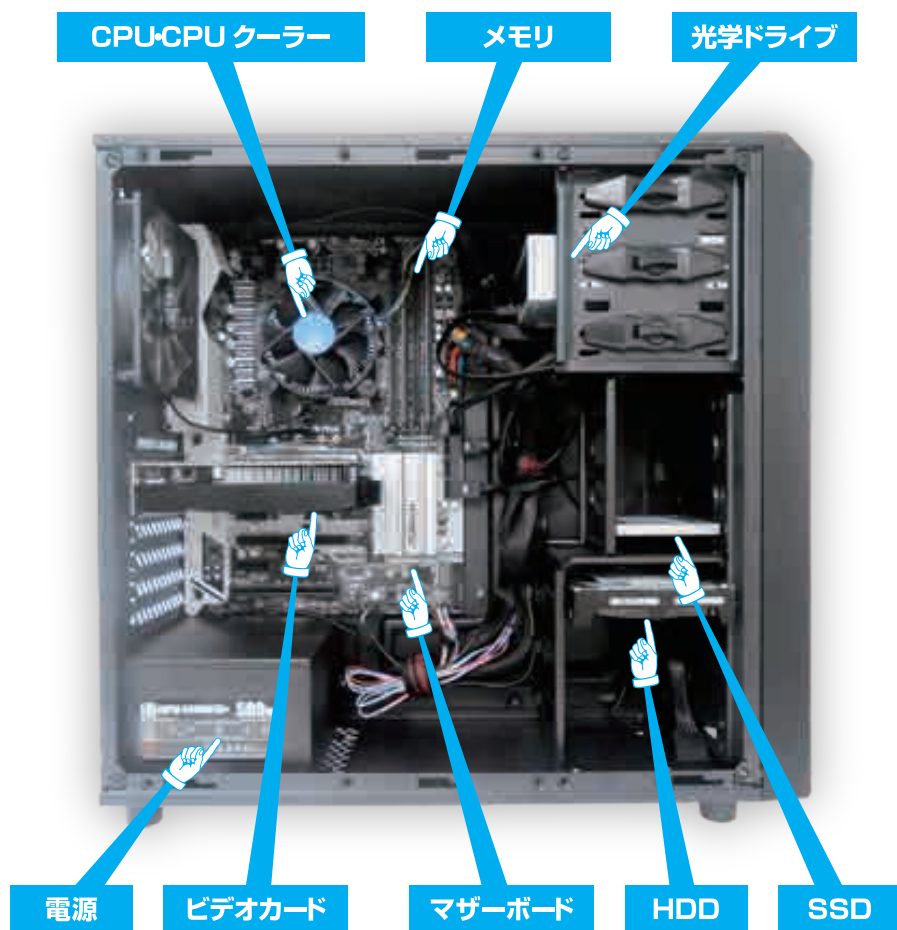
OS

② 別途ご用意いただくもの

- ・モニター
- ・キーボード/マウス(マザーボードの接続端子に合ったもの)
- ・工具類(プラスドライバーなど)

商品構成

③各パーツの取付け場所(例)



- ・本マニュアルは、ドスパラ自作パソコンキット「はじめてでも簡単に作れる!シリーズ モデル201」の構成をベースに作成しています。
- ・マザーボードやケースが違うパソコンでは、組み立て方が異なる部分がありますのでご注意ください。

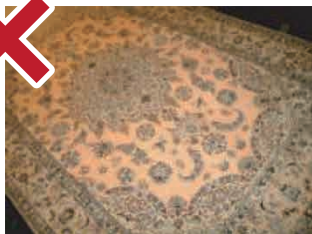
組み立て準備

① 広くて平らな場所で作業する

狭い場所や不安定な場所だと、作業中にPC 本体を倒してしまったり、傷付けたりしてしまいます。

② 静電気の多い場所での作業は避ける

マザーボードやメモリなど主要なPC パーツの多くは静電気に弱く、作業中の帯電が故障の原因になる場合があります。カーペット敷きなど静電気のたまりやすい場所での作業は避けましょう。



静電防止手袋の着用などもおすすめです。



③ 細かい部品をなくさないよう注意する

ネジやケーブルなどの細かい部品は組み立て中になくさないようご注意ください。
工具セットやマザーボードの空き箱に入れておくと便利です。



組み立て準備

④ パーツを箱から取り出す際の注意

各パーツは最初からすべてを箱から取り出す必要はありません。
必要になったパーツだけ順番に取り出しましょう。



※一部パーツの取出しには、ハサミやカッターで封を切る
必要があります。けがにご注意ください。



マザーボードの裏には突起が多いため、
袋から出す時に強く握ると手に
刺さることがあります。
手袋などをご利用ください。

組み立て準備

⑤ その他、組み立て前には以下の点をご確認ください。

- パーツの箱や付属品はサポートなどで必要です。
レシートと一緒に保管してください。
※CPUのプラスチックカバーや、マザーボードの
CPUソケットカバーなども保管しましょう。
- マザーボードのピン折れやコネクタ部分などの物理的破損は、
対応保証サービスに加入していないと保証対象外となります。

組み立て

① ケースのサイドパネルを開ける

ケース背面のネジをはずし、サイドパネルをケース背面側にスライドさせて取り外します。

今回使用するケースの「Fulmo.Q」は、両側のパネルを取り外してください。



スライドして
あける



② ケースの付属品を確認する

組み立てには、ミリ・インチという2種類のネジを使用します。

Fulmo.Qの場合、HDD・光学ドライブは

スクリューレスキットがケースに取り付け済みですので、ネジは不要です。

その他付属品は、写真を参考にご確認ください。

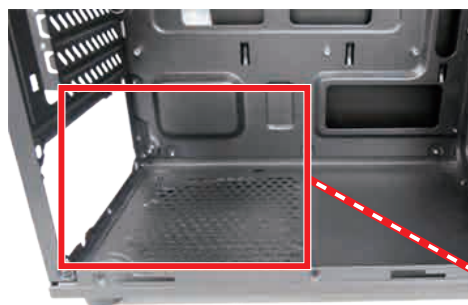
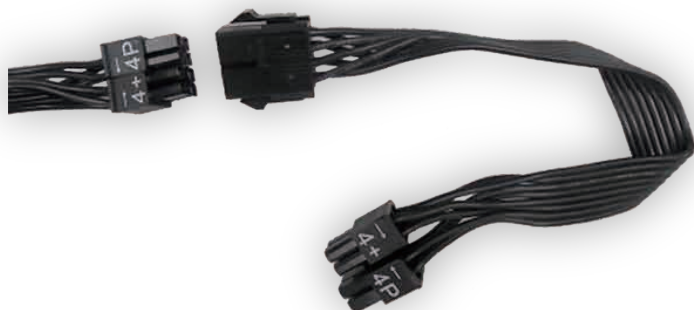
※他のケースでは、ケーブル類をまとめるバンド(タイ)、

PCの起動時に音を鳴らすBEEPスピーカーが付属しない事があります。



③ ケースに電源を取り付ける

今回使用する電源「KRPW-N500W/85+」では、最初に「4+4P」というケーブルに付属の延長ケーブルをつなげておきます。



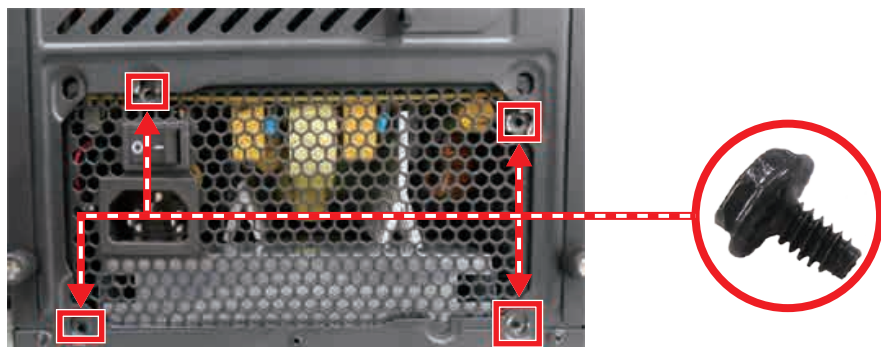
電源のファンが下向きになるように設置します。

電源設置場所の下部に通気口が無いケースの場合は、ファンを上向きに取り付けてください。



組み立て

③ ケースに電源を取り付ける



ケースの背面から、赤枠部分の4カ所をネジ止めします。
使用するネジは電源付属のインチネジです。



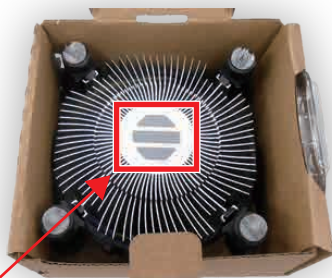
電源スイッチは、「-」がON、「○」がOFFです。
組み立てが終わるまで、「○(OFF)」にしておきましょう。
電源ケーブルもまだ接続しないでください。

組み立て

④CPUをマザーボードに取り付ける

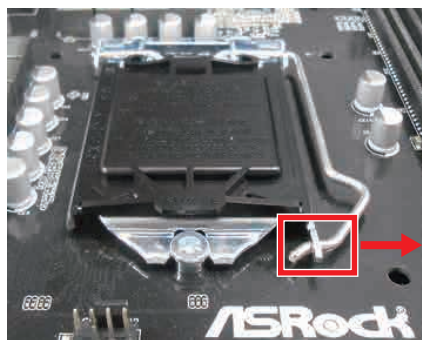


マザーボードを箱から取り出し、平らな場所に置きます。
袋の中に敷いてあるクッションと一緒に取り出し、
そのまま置くと良いでしょう。

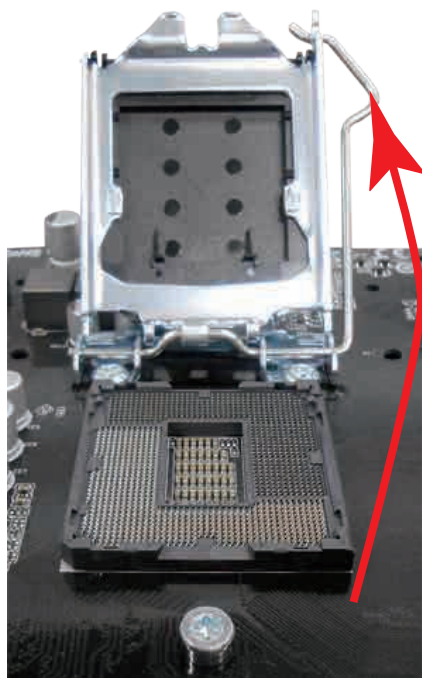


次にCPUとCPUクーラーを取り出します。
CPUクーラーは、**赤枠**部分にグリスという粘度のある液体が
塗ってあります。グリスはCPUの熱をクーラーに伝える重要
部分ですので、触れないようにご注意ください。

④ CPUをマザーボードに取り付ける

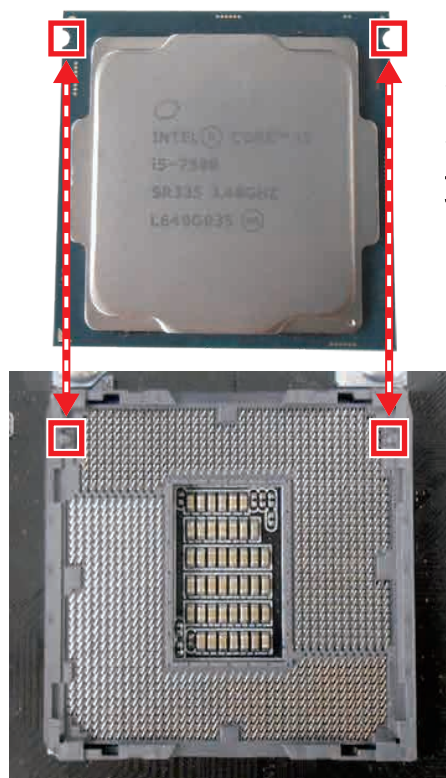


CPUソケットのレバーを上から抑えながら、矢印の様に右側に動かし、ロックから外します。



外したレバーを上げると、ソケットのカバーが開き、CPUソケットのピンが露出します。

④ CPUをマザーボードに取り付ける

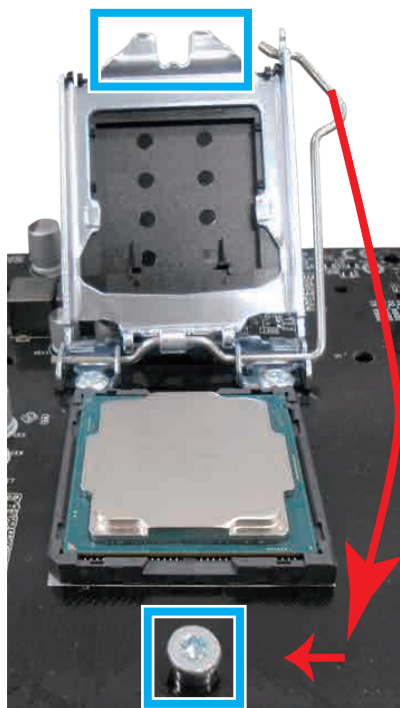


CPUには設置方向を間違えないための目印となる切り欠き(くぼみ)があります。ソケットとCPUの切り欠きを見て、取付方向を確認します。

CPUを写真のようにつまみながら、慎重にソケットに置きます。手袋の繊維がピンに絡むとソケットのピンが折れる恐れがありますので、この作業は素手で行ってください。



④CPUをマザーボードに取り付ける



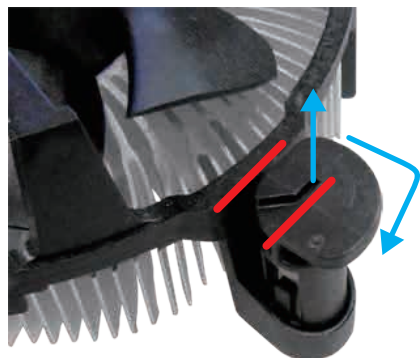
CPUを取付けたら、レバーを戻して
ソケットカバーをロックします。
青枠部分がかかる様にしてください。

カバーをロックするとフタが
浮きますので、マザーボードの
箱に保管してください。

※マザーボード故障などの返品時に
必要ですので、フタは決して捨て
ないでください。



⑤ CPUクーラーをマザーボードに取り付ける

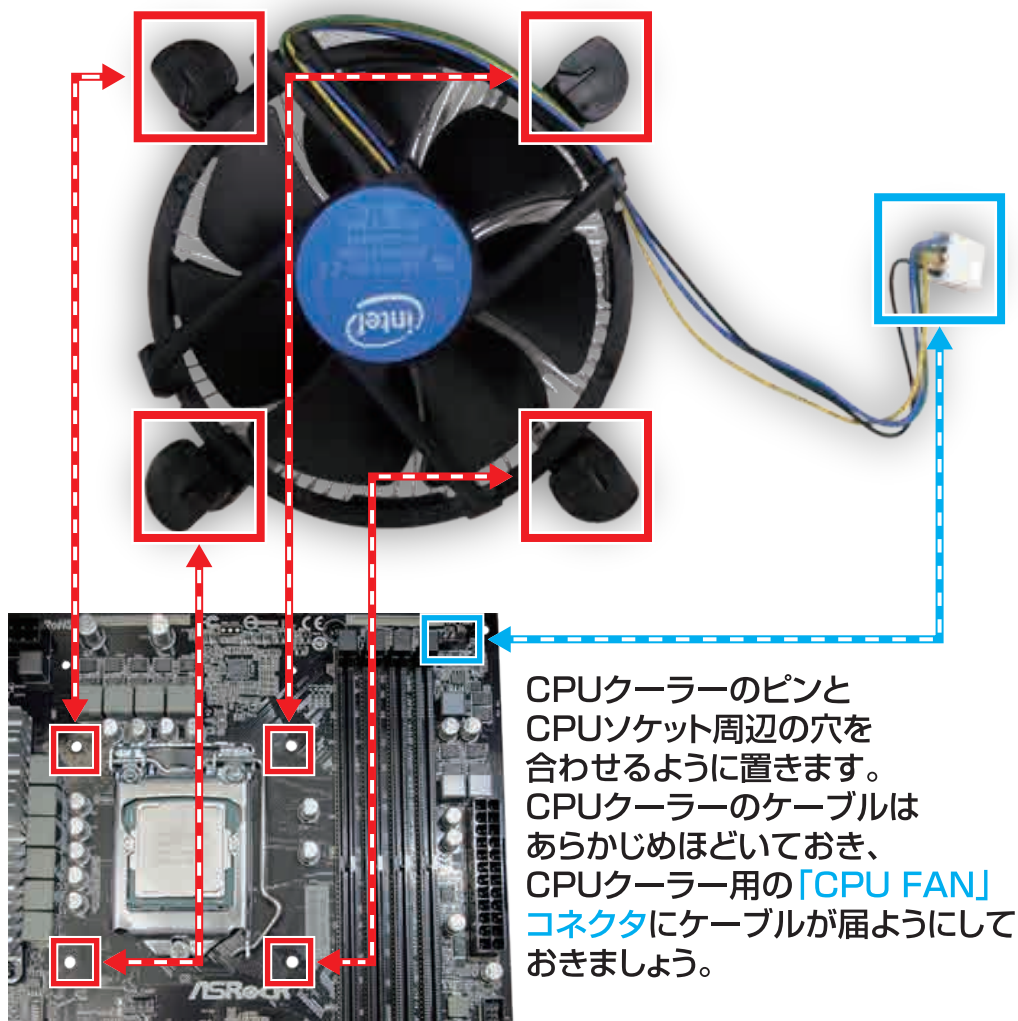


最初に、クーラーの4カ所あるピンの向きを確認します。**赤ラインの、ピンにある溝とクーラーの枠が水平**になっている場合は、ピンを上へ引いて右へ回してください。

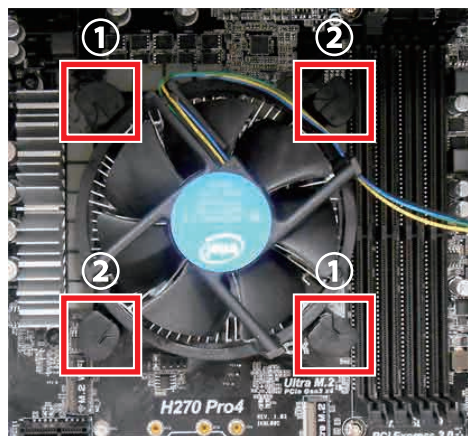


このように、**ピンの溝とクーラーの枠を垂直**になるまで回します。

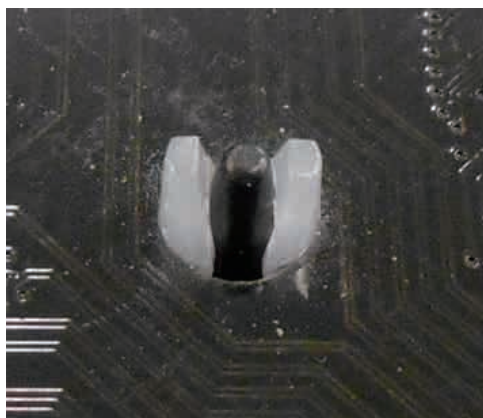
⑤ CPUクーラーをマザーボードに取り付ける



⑤ CPUクーラーをマザーボードに取り付ける

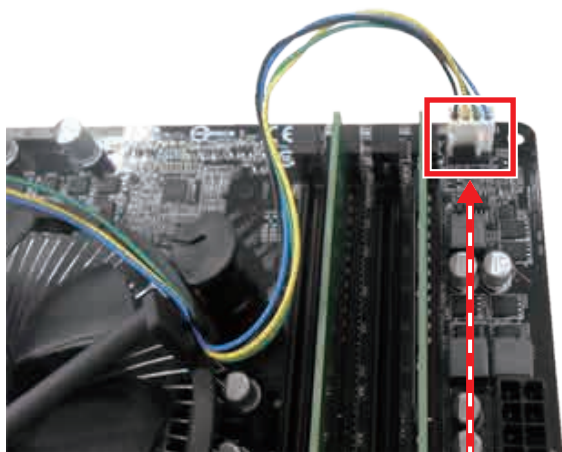


ピンを番号順に、2カ所ずつ親指で押し込みます。カチッと音がするまで押し込んで下さい。

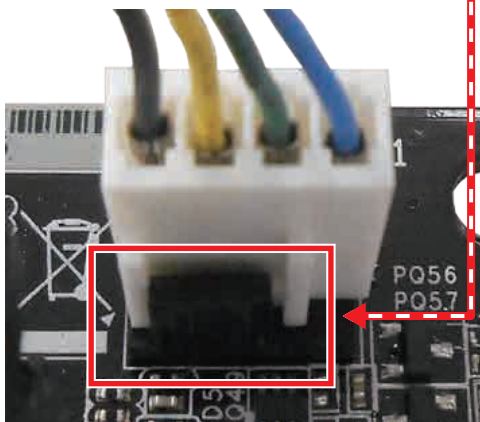


マザーボードの裏側から、先ほど押し込んだピンを確認しましょう。4カ所とも写真の様に、黒いピンが白いピンを広げるようになっていれば問題ありません。

⑤ CPUクーラーをマザーボードに取り付ける

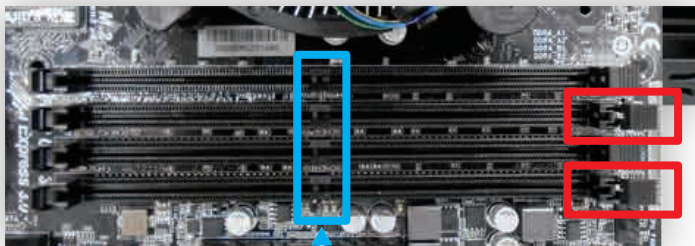


H270 Pro4の
CPUクーラー用
コネクタは、メモリの右上
(赤枠部分)です。



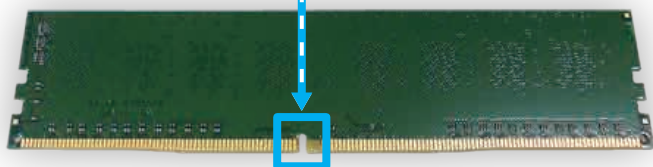
CPUのケーブル、そして
マザーボード側のコネクタには
凹凸がありますので、合わせて
取付けてください。

⑥ メモリをマザーボードに取り付ける

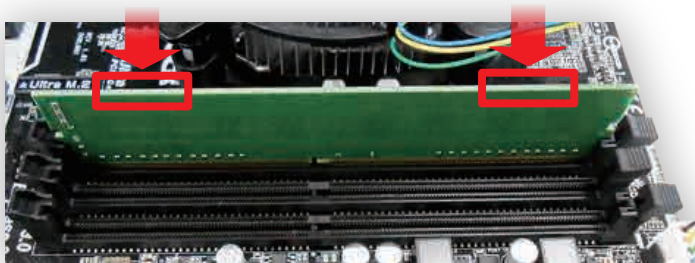


赤枠部分の、メモリスロット端のフック (CPUに近い方から2・4番目) を開きます。

※マザーボードによっては、両端を開く製品もあります。



メモリにも、CPUと同じく方向を確認するための切り欠きがあります。スロットとメモリの切り欠きを見て、挿す向きを確認します。



メモリをスロットに触れるように置いたら、最後は赤枠部分の2カ所を同時に、カチッと音がしてフックが閉まるまで押し込んで下さい。

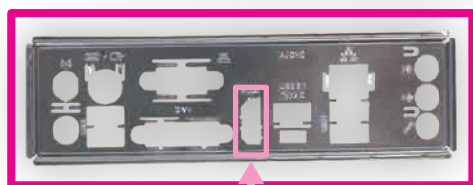
組み立て

⑦ マザーボードをケースに取り付ける

マザーボード取付け時には、ケースを横に倒します。
ビデオカード搭載モデルの場合は、マザーボード取付ける前に
赤枠部分のカバー2つと**緑枠部分の2スロット分のブラケット**を外します。
カバーを外すと**青枠部分のブラケット**は自然に外れますが、後で
使用しますので保存してください。

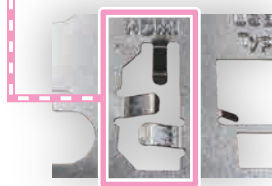
緑枠のブラケットはねじ切って、ケース付属品用のビニール袋に
入れておきましょう。

※ブラケット:ビデオカードなどを搭載した時に固定する
ケース背面のカバー部分。PCIスロットカバーとも言います。



マザーボード付属の背面パネル用
カバーを、**ケースの内側からはめ込
みます。**

写真を参考に向きや表裏を間違えな
いようにしてください。

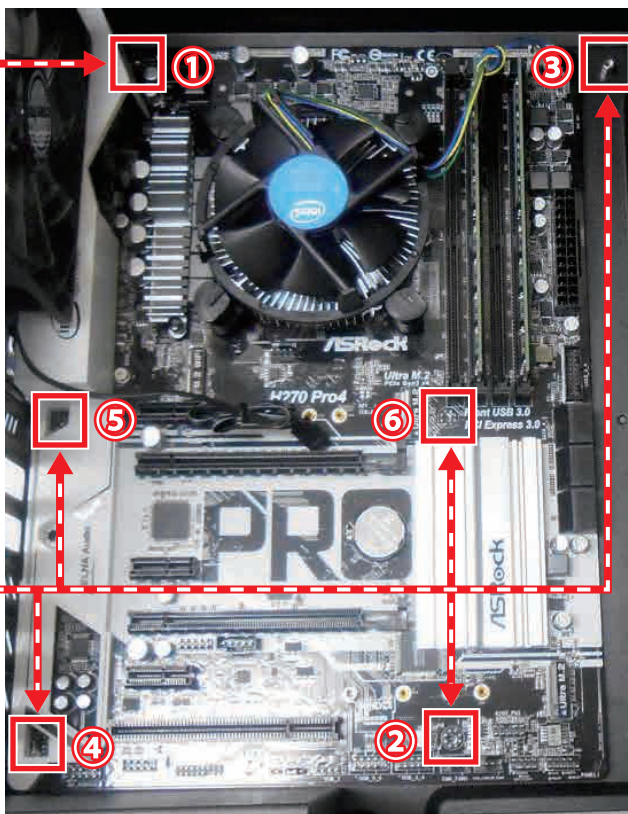


HDMI部分の爪が穴を塞いでいる
場合は、ケース内側に折り曲げて
ください。このままマザーボードを
取付けると、HDMIが使えません。

⑦ マザーボードをケースに取り付ける



マザーボードは斜めに入れ、
左にスライドさせるようにすると良いでしょう。

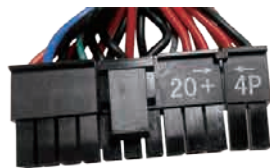
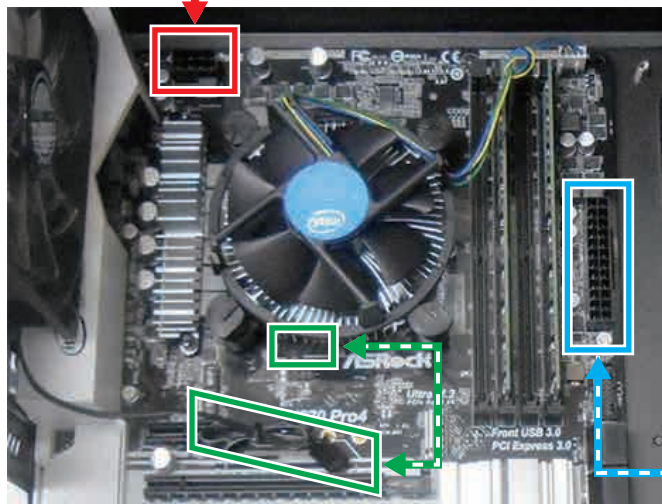


マザーボードを取付けたら、写真の6カ所を順番どおりに
ネジ止めしてください。使うネジは**ミリネジ**です。

組み立て

⑦ マザーボードをケースに取り付ける

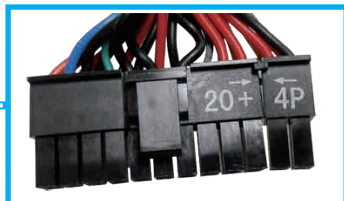
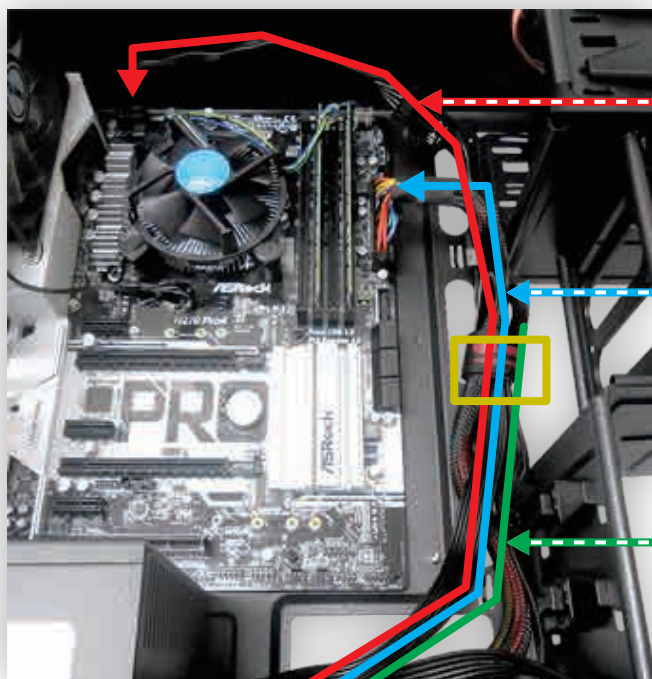
赤枠と青枠の電源ケーブル2本と、
緑枠のケース背面ファンのケーブルをマザーボードに接続します。



電源コネクタはロックが合うように取り付けてください。
取付け後は一度引いてみて、抜けない事をご確認ください。

⑦ マザーボードをケースに取り付ける

マザーボードに接続した2本のケーブルと、
ビデオカード用補助電源ケーブルを
各色のラインのように取り回します。



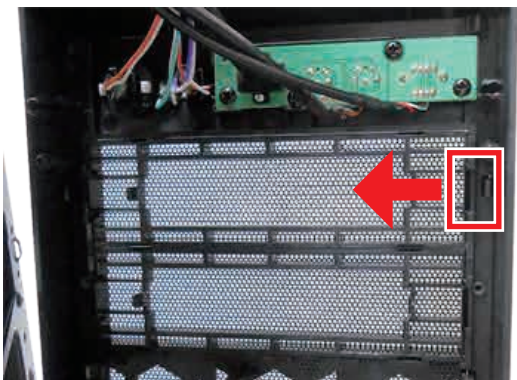
ケース付属のケーブルバンドを使い、3本のケーブルを黄色枠の位置で
縛りましょう。なお、補助電源が必要なビデオカードを搭載する場合は、
緑のケーブルを縛る必要はありません。

⑧ 光学ドライブをケースに取り付ける



倒していたケースを立てて、
ケース前面パネルを外します。
ケース本体をしっかりとおさえながら、
パネル下部に手を入れて引き出してく
ださい。

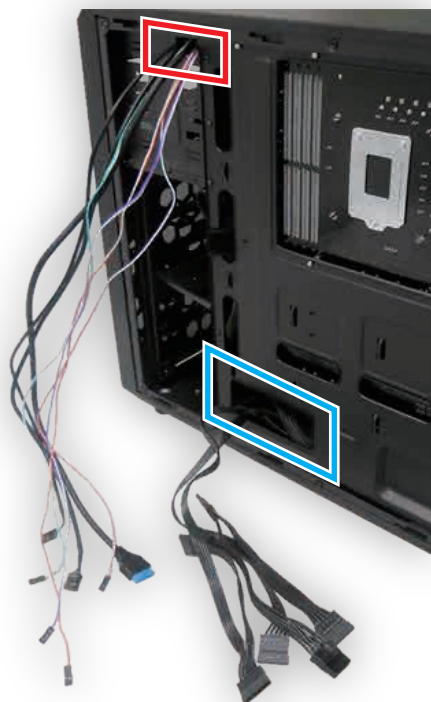
光学ドライブ用のベゼル(パネ
ル)の爪を矢印側にゆっくり曲げ
ながら、ベゼルの外側に押し出し
て外します。
ベゼルの外したら、先ほど外した
前面パネルを元に戻します。



⑧ 光学ドライブをケースに取り付ける

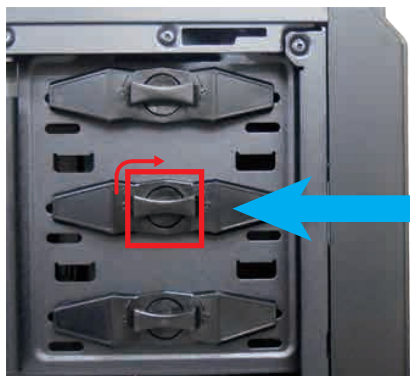


前面パネルを戻したら、パネルから伸びているケーブルをすべて**赤枠**の穴から背面に出します。さらに、まだ縛っていない電源のSATAケーブル2本を、**青枠**の穴から背面に出しておきましょう。



ケースの背面から見て、ケーブルがこのような出ていれば問題ありません。

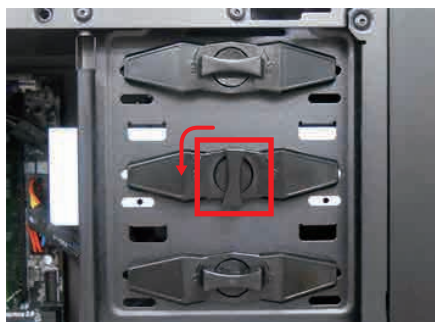
⑧ 光学ドライブをケースに取り付ける



光学ドライブ用のスクリューレキットを外します。キットは3カ所ありますので、中段のレバーを、矢印のように右に90度回し垂直にして、引き出します。

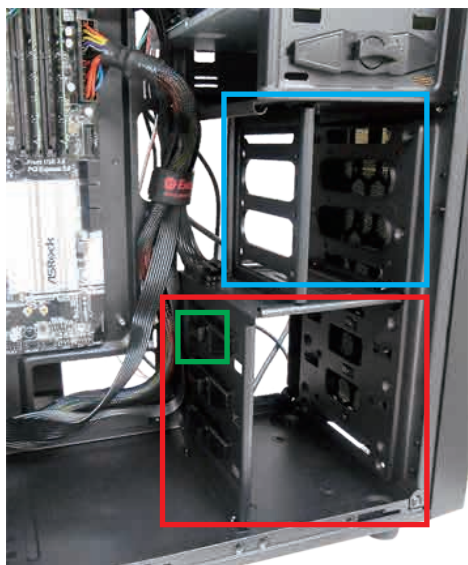


次に光学ドライブを、ケース前面から**青い矢印**のように挿入します。ドライブのネジ穴を写真の位置に合わせ、キットの突起をネジ穴に挿して戻します。



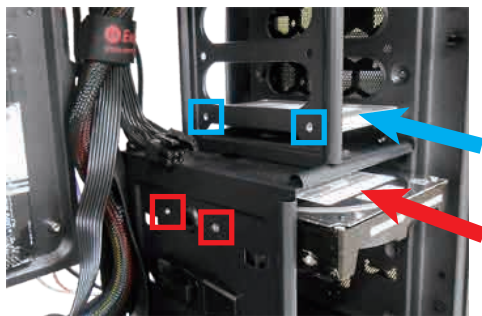
キットを戻す時は、レバーが垂直になっている事をご確認ください。最後に、レバーを左に90度回し、水平にして固定します。

⑨HDD/SSDをケースに取り付ける



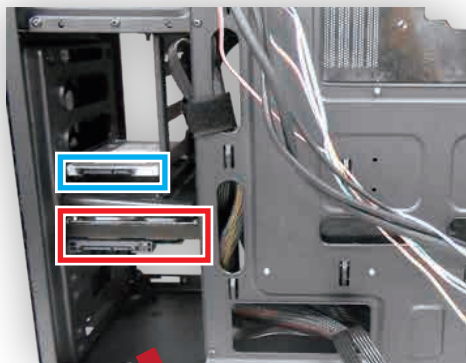
HDDは赤いエリア(ベイ)、SSDは青いエリアに取り付けます。HDD取付け時は、光学ドライブと同じように緑枠の位置にあるスクリーンレスキットのレバーを右に90度回して取り出してください。

HDDやSSDを写真の様に表側から押し込みます。ネジ穴が赤や青枠に合うようにしてください。HDDは先ほど外したキットを戻し、レバーを左に90度回して固定、SSDはミリネジで固定してください。

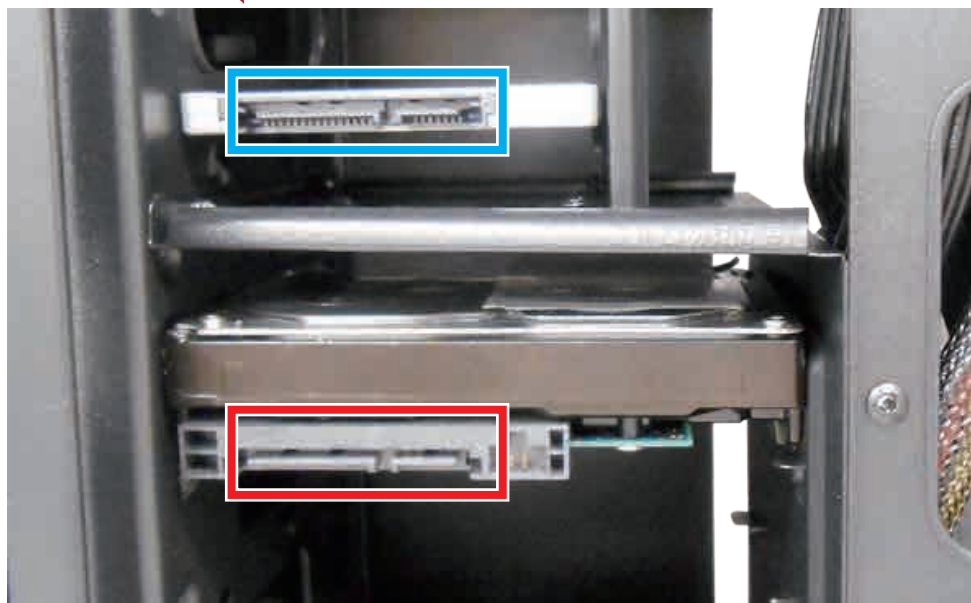


⑨ HDD/SSDをケースに取り付ける

HDD/SSDの取付け時は、コネクタをケースの背面側にしてください。



コネクタ拡大面

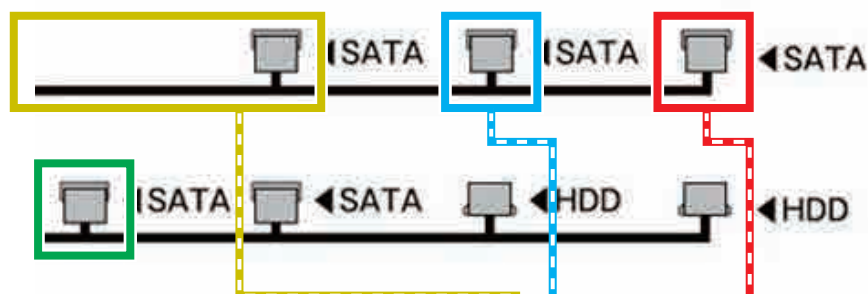


⑩ HDD/SSD/光学ドライブに電源ケーブルを接続する

先ほどケース背面に出した電源ケーブルは下の2本です。

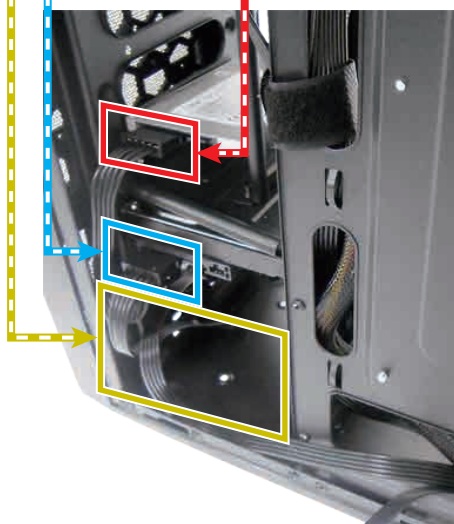
赤枠と**青枠**のコネクタをHDD/SSD、**緑**のコネクタを光学ドライブに接続します。

緑枠のあるケーブル側には書いてある「HDD」という2つのコネクタは、「ペリフェラル4ピン」と呼び、現在のHDDには使いません。



最初にHDD/SSDを接続します。
あまったコネクタやケーブル部分は、**黄枠部分**のHDD下の空きスペースにまとめておきましょう。

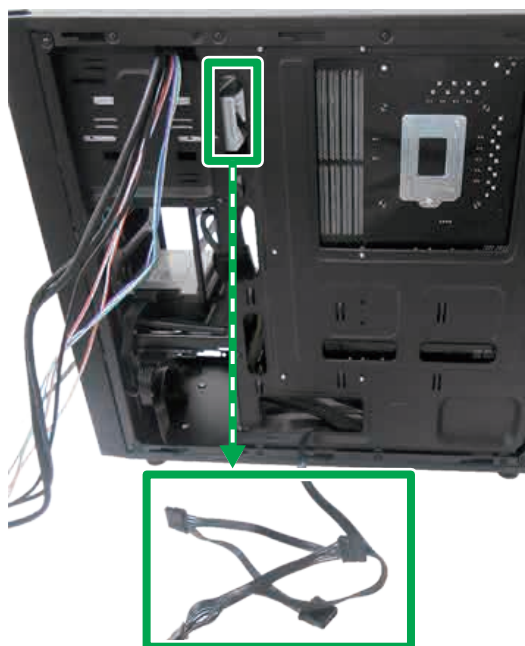
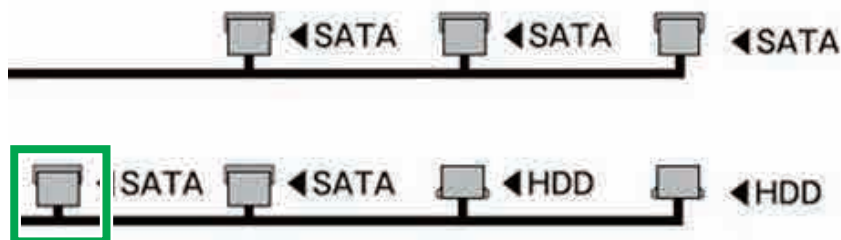
パーツの犬モデル工具セットに付属しているケーブルタイで縛っておくと綺麗に入ります。



組み立て

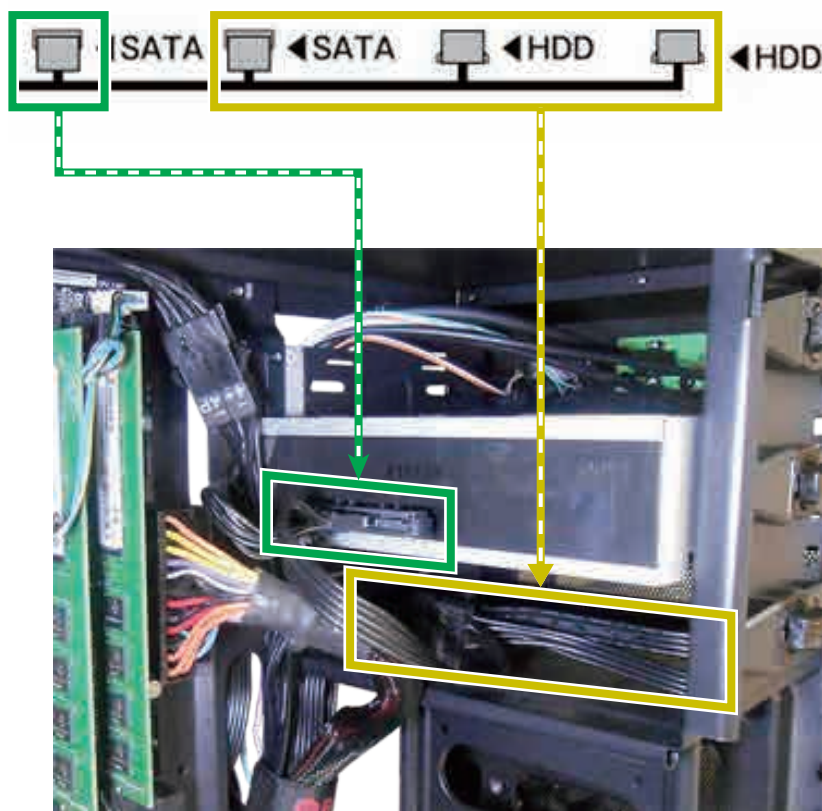
⑩ HDD/SSD/光学ドライブに電源ケーブルを接続する

光学ドライブ用のケーブルは、ケース背面の緑枠部分からケース内部に入れます。4コネクタ全てを入れてください。



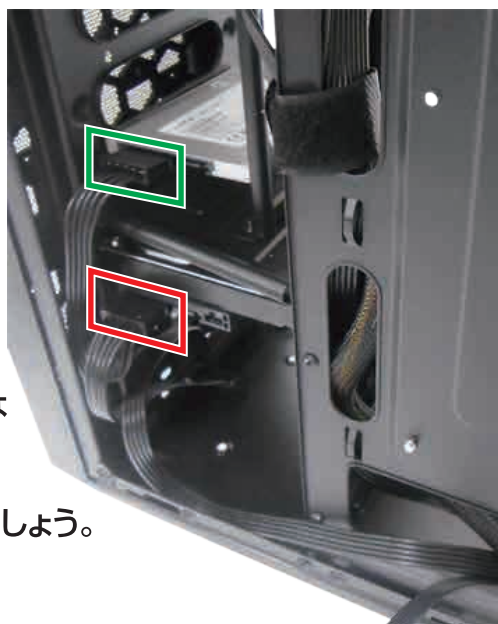
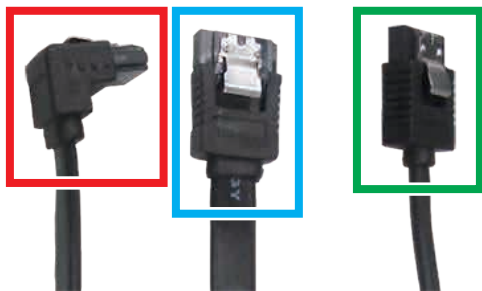
⑩ HDD/SSD/光学ドライブに電源ケーブルを接続する

ケース内にケーブルを入れたら、**緑枠**のコネクタを光学ドライブに接続します。あまった3つのコネクタは、**黄枠**部分の光学ドライブ下にまとめておきましょう。



⑪ HDD/SSDとマザーボードをSATAケーブルで接続する

HDD/SSDとマザーボードをつなげるケーブルをSATAケーブルと呼びます。今回使用するマザーボード「H270 Pro4」の付属ケーブルは、**赤枠**と**青枠**の2本です。**緑枠**のケーブルは、HDD/SSDダブルドライブ構成や増設セット購入時に付属するケーブルです。マザーボードの付属品より細く短くなっています。



ここで使うケーブルは、赤枠と緑枠のケーブルです。青枠のケーブルは光学ドライブ用ですので、まだ使用しません。

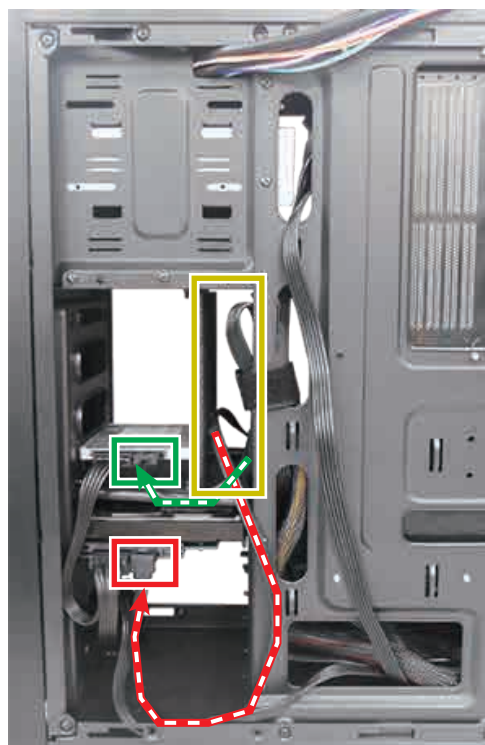
マザーボードの箱にしまっておきましょう。



SATAのコネクタも、電源同様にL字になっています。ケーブルの上下を間違えないようにご注意ください。

⑪ HDD/SSDとマザーボードをSATAケーブルで接続する

赤枠と緑枠のSATAケーブルをそれぞれHDD/SSDに接続したら、各色のラインを参考に、折らないようにゆるやかに曲げながら(下記参照)反対側のコネクタを黄枠のエリア(SSDの隣)から、ケース内側に入れてください。



SATAケーブルは強い折り曲げに弱いので、ご注意ください。特にコネクタの根元部分は折り曲げ厳禁です。



このように折らないでください。

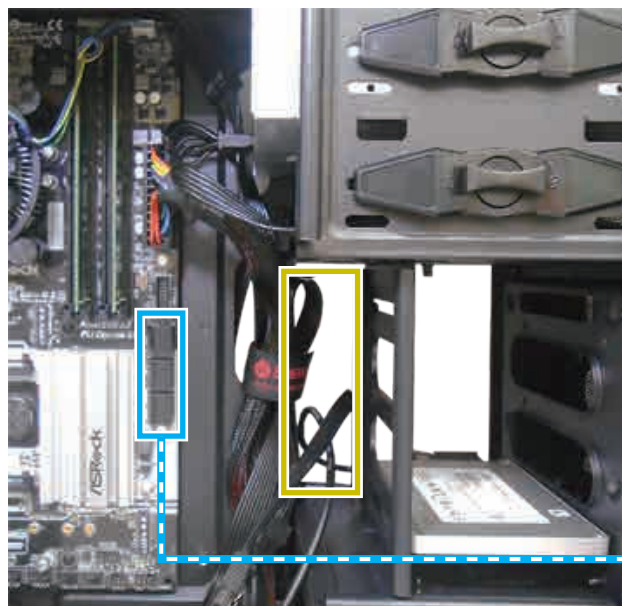


1円玉の外周に沿う程度なら大丈夫です。

⑪ HDD/SSDとマザーボードをSATAケーブルで接続する

ケースを回して内部に戻ります。

先ほど**黄枠**エリアからケース内部に入れたケーブルを、マザーボードのSATAコネクタ(**青枠部分**)に接続します。



青枠部分を横から見ると、合計6つのSATAコネクタがあります。

HDD/SSDが2台ある場合は、SSDに接続したケーブルを**緑枠**、HDDのケーブルは**赤枠**に接続します。

HDD/SSDのどちらか1台という構成時は、**緑枠**に接続します。

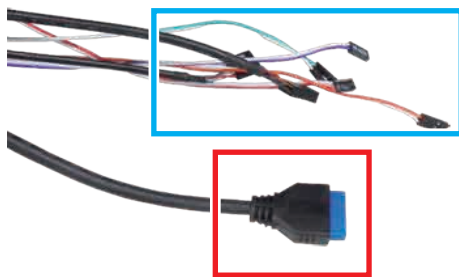
こちらのコネクタも上下を間違えないようにしてください。



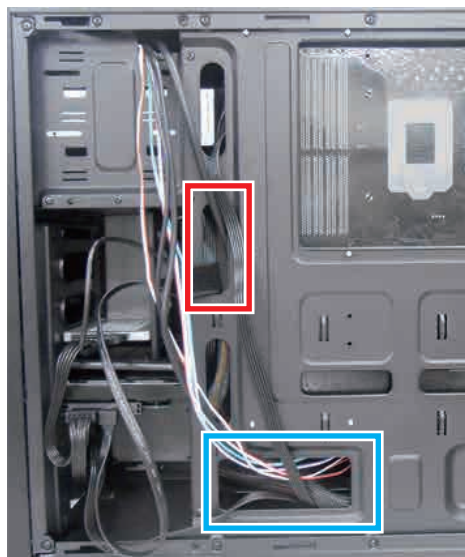
⑫ マザーボードに前面パネル用ケーブルを接続する



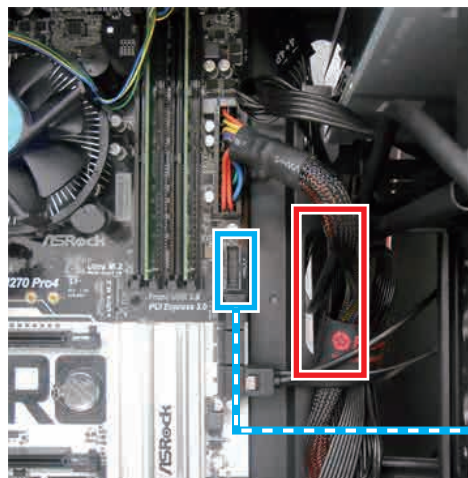
ケース背面に出していた前面パネル用ケーブルを確認します。
USB3.0ケーブル(赤枠)と、その他すべて(青枠)に分けます。



USB3.0ケーブルは赤枠の穴、
その他ケーブルは青枠の穴から
ケース内部に入れます。

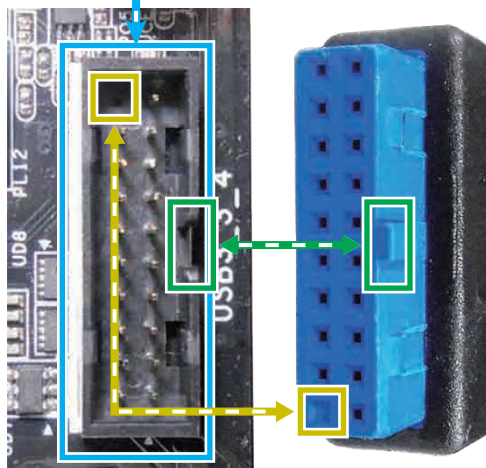


⑫ マザーボードに前面パネル用ケーブルを接続する



赤枠の穴から入れたUSB3.0ケーブルは、すぐ隣の青枠部分に接続します。

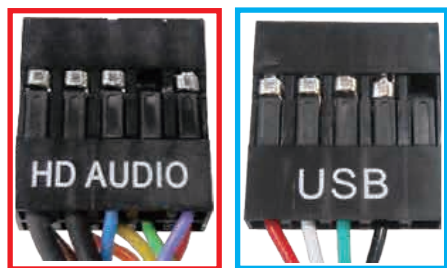
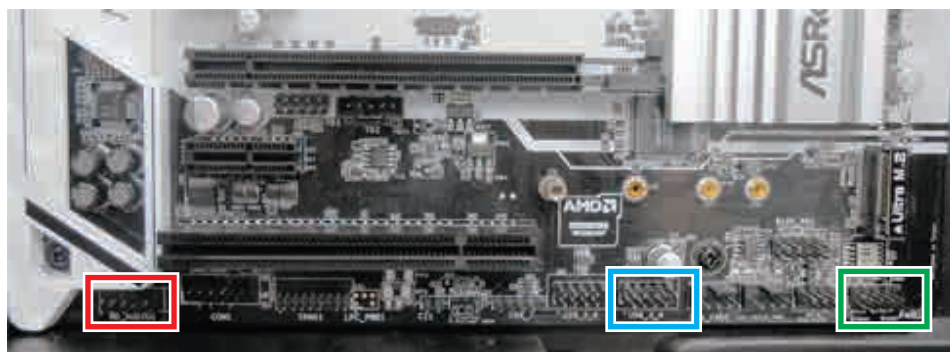
USB3.0ケーブルのコネクタには、切りかけとピンが抜けている部分がありますので、それぞれの部分を合わせるように挿しこんでください。あまったケーブルは光学ドライブの下に入れておきましょう。



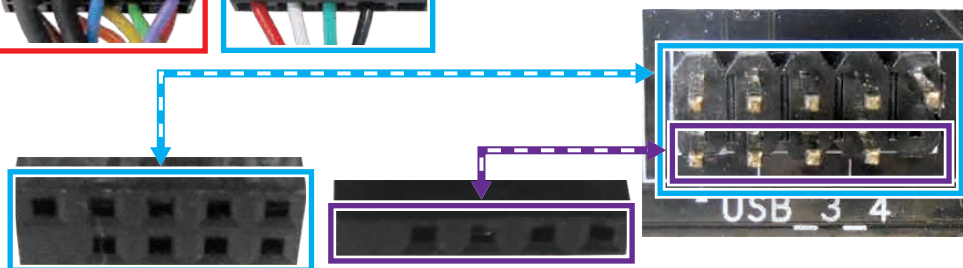
組み立て

⑫ マザーボードに前面パネル用ケーブルを接続する

USB3.0以外のケーブルは、それぞれ**AUDIO(赤枠)**、**USB2.0(青枠)**、ケースの**電源ボタンなどのケーブル(緑枠)**に接続します。**緑枠**はケース付属のBEEPスピーカーも取付けます
(**緑枠**の詳細は次のページをご覧ください)。



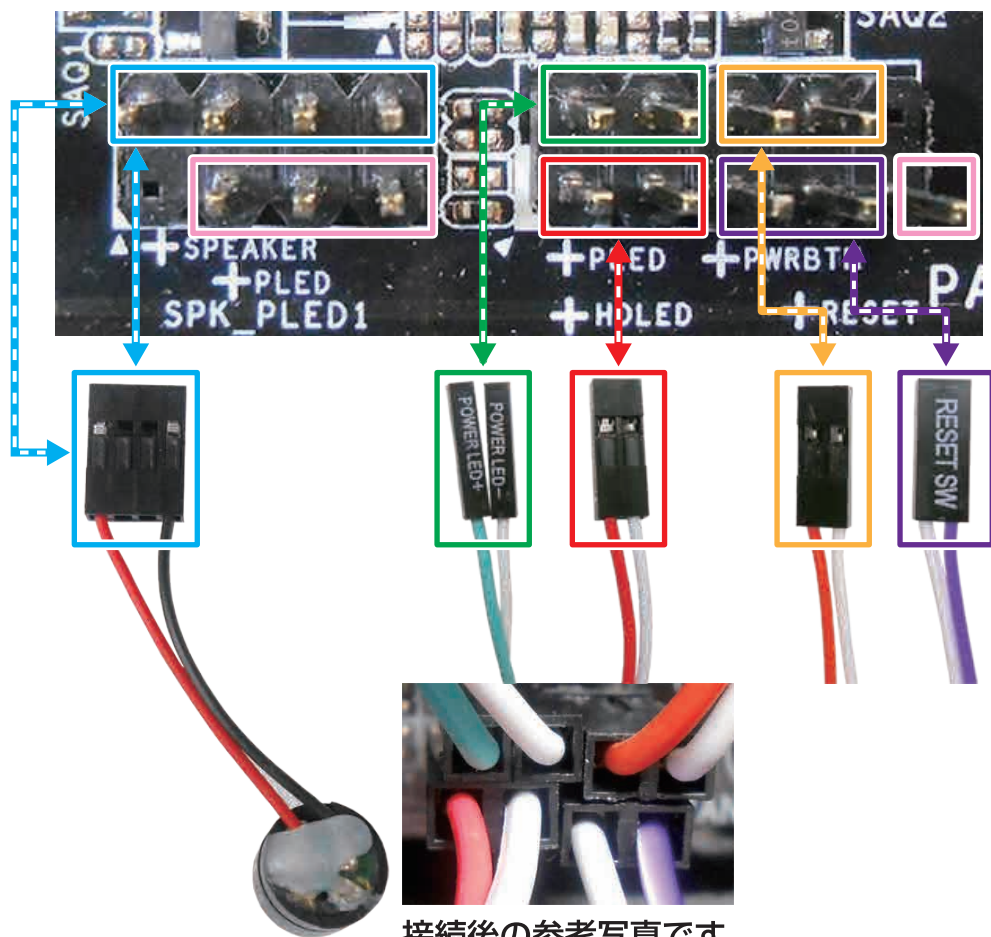
AUDIOとUSB2.0のコネクタは、それぞれの文字が上になるように接続します。



USB2.0のコネクタは、ケースの販売時期により形状が異なります。
厚さがピン1列分のコネクタは**紫枠**、厚さがピン2列分あるコネクタは**青枠**のように取り付けてください。

⑫ マザーボードに前面パネル用ケーブルを接続する

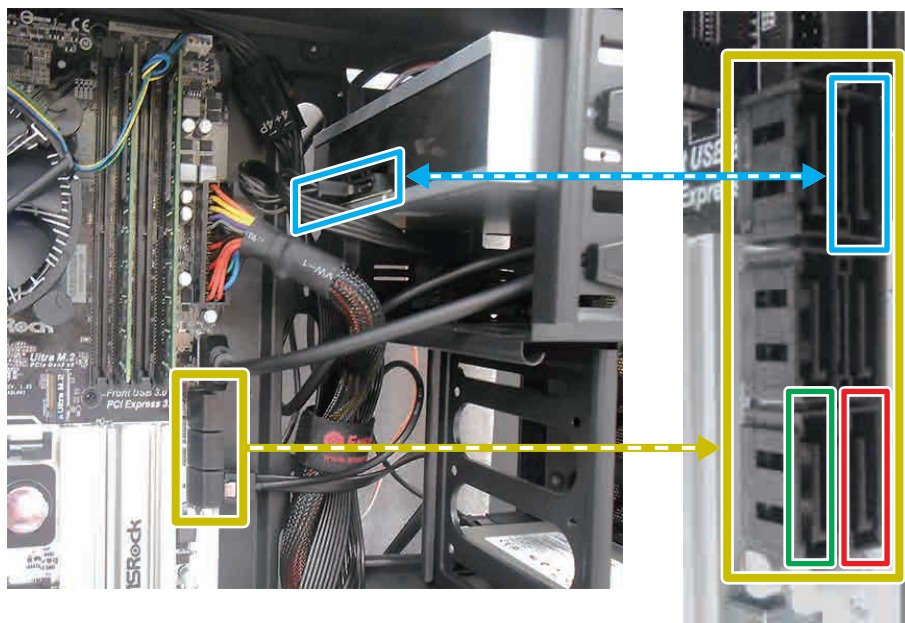
最後にケースのボタンやLEDライト用のケーブル、BEEPスピーカーを接続します。BEEPは青枠、ケース用のケーブルは、それぞれ合う色のピンに接続します。コネクタの上下(白と色つきケーブルの左右)も写真どおりにしてください。※ピンクのピンは使用しません。



接続後の参考写真です。
紫枠「RESET」の線だけ白いケーブルが左になります。

⑬ 光学ドライブとマザーボードにSATAケーブルを接続する

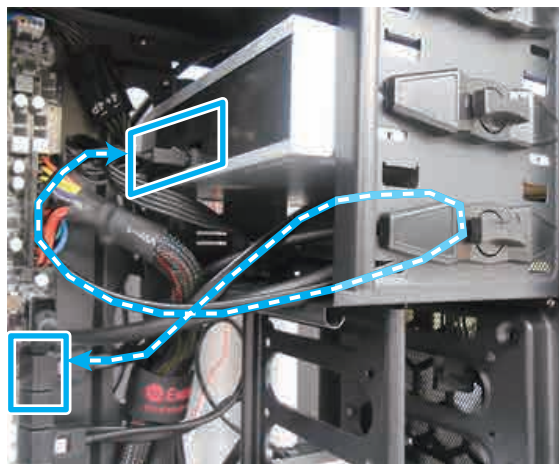
青枠部分の光学ドライブとマザーボードのSATAコネクタに、まだ使用していないSATAケーブルを接続します。



(緑枠や赤枠部分は、すでにHDD/SSDのケーブルが接続済み)

⑬ 光学ドライブとマザーボードにSATAケーブルを接続する

SATAケーブルは、最初にマザーボード側に接続しておくこと、取り回しやすくなります。



光学ドライブ下の空間にケーブルを入れながら緩やかに曲げていき、写真のように光学ドライブと接続します。

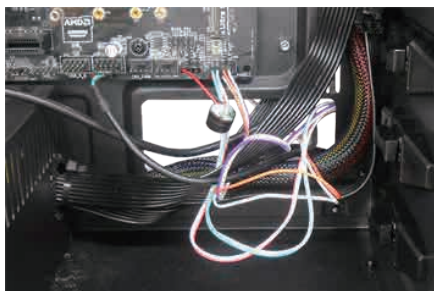
(「色が薄いライン」、は光学ドライブの下に入っている部分です)

SATAケーブルの曲げ方の注意点は、**35ページ**をご覧ください。

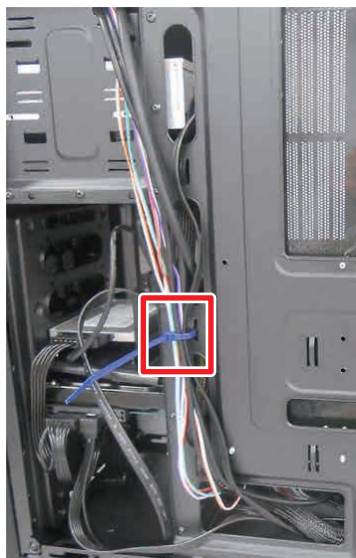
⑭ ケース内部と背面のケーブルを縛る



前面パネル用ケーブルを綺麗にまとめましょう。27ページで背面に出したケーブルがたるんだ状態になっている場合は、たるまない程度になるまで引きながら、内部に引き入れてください。※ケーブルが完全に張るように強く引くと、前面パネルのケーブルが抜ける恐れがありますのでご注意ください。



ケーブルがこの様になればよいでしょう。パーツの犬モデルは工具セットにケーブルタイが付属していますので、**赤枠**付近で縛っておくとまとめやすくなります。ケーブルタイの余った部分は、付属のニッパーで切り落としてください。※ニッパーをご使用の際は、ケーブルを切断しないようにご注意ください。

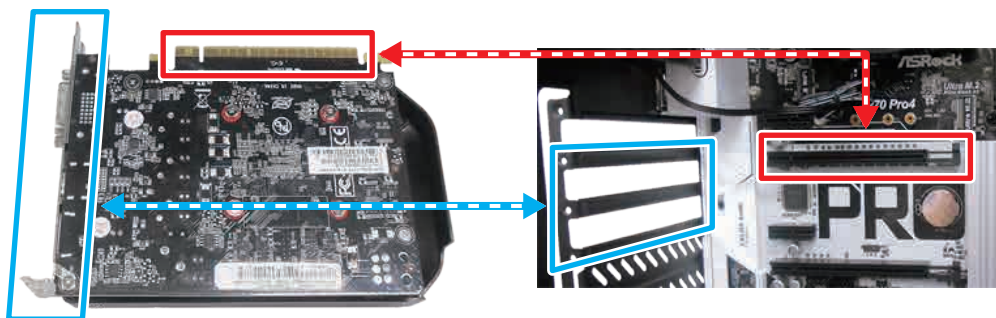


⑭ ケース内部と背面のケーブルを縛る

背面から入れたケーブルを軽く折り曲げ、電源のケーブルと一緒にケース付属のケーブルバンドで縛ります。ビデオカードを搭載しないモデルの人は、ここで完成となります。そのまま47ページへお進みください。

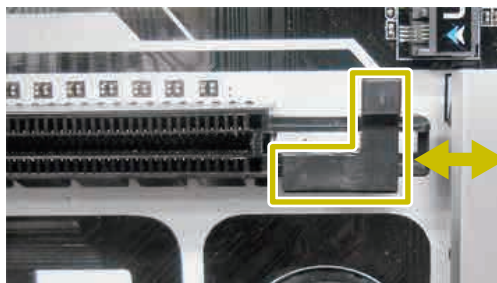


⑮ ビデオカードを取り付ける



ビデオカード用のPCI-Expressスロットにビデオカードを取り付けます。ビデオカードは背面をCPUクーラーに向けるように取り付けます。

PCI-Expressスロットの端には、ロックがついています。ビデオカードを挿す前に右端にしておき、挿した後左に動かしてカードを固定します。

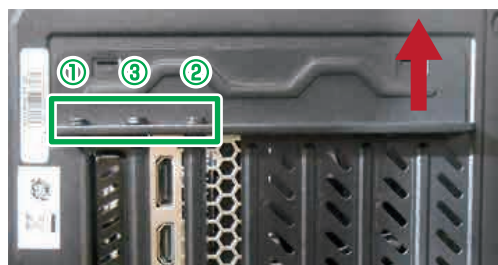
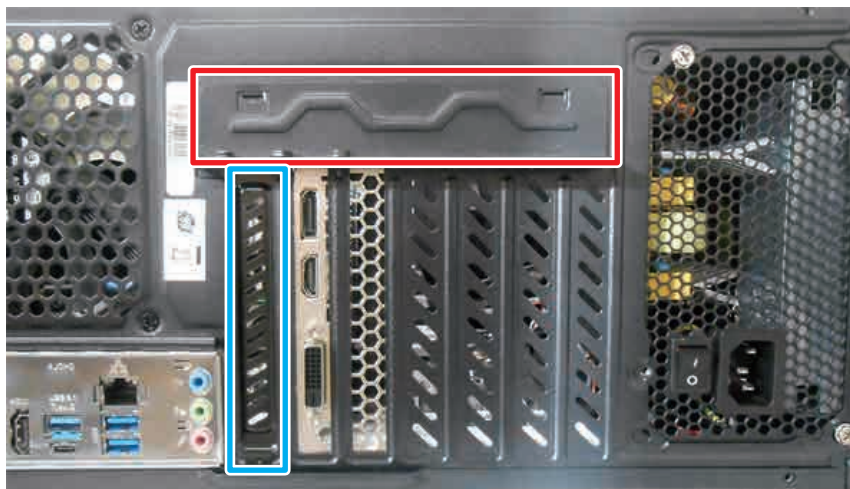


ビデオカードの青枠部分の金具は27ページで取り外した青枠部分の溝に挿してください。青枠の溝のすぐ隣にマザーボードカバーの溝(赤枠)がありますが、ここに挿してもビデオカードは固定できませんのでご注意ください。

⑮ ビデオカードを取り付ける

ケースを横に倒し、22ページで取り外した赤枠のカバーと青枠のブラケットを取り付けます。

最初に青枠のカバーをつけ、赤枠のカバーをかぶせるようにしましょう。



外した時のインチネジと、ケース付属のインチネジ2つを使い、緑枠部分の3カ所をネジ止めします。左から順に固定すると、カバーの右端が浮き上がりやすいため(赤い矢印参照)、緑枠1・2・3の順に固定してください。

⑩ 完成写真



完成写真(ビデオカード搭載モデル)はこのようななります。
配線の参考にご覧ください。

⑰ キーボード・マウス・電源ケーブル・モニタの接続



サイドパネルを閉じる前に各ケーブルを接続し、動作チェックを行います。

- 赤枠:USBキーボード&マウス

- 青枠:ディスプレイ出力

ビデオカード搭載モデルはビデオカード側のコネクタに接続してください。

- 緑枠:電源ケーブル

ケーブル接続後に、スイッチを「-(ON)」にしてください。

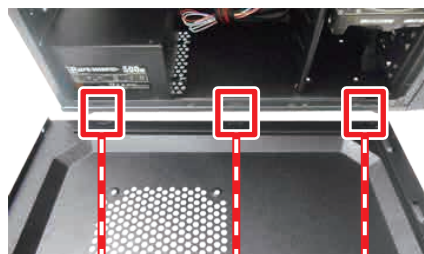


先にディスプレイの電源をONにしておき、次にケースの前面にある電源(Power)ボタンを押します。

電源ボタンのすぐ左が青く光り(Resetボタン左の赤いライトは、HDD/SSDや光学ドライブにアクセスしている時に光ります)、CPUやケースのファンが回り、「ピッ」という短いBEEP音がして、ディスプレイに下の画面が表示されれば問題ありません。

サイドパネルを閉じますので、電源ボタンを押して一度電源を切り、各種ケーブルを抜いてください。

⑱ ケースのサイドパネルを閉じる



動作チェックが完了したら、サイドパネルを閉じれば完成です。
パネルには上下に3カ所ずつ爪があり、ケース側にはそれぞれ爪を通す穴があります。



パネルの爪と、ケースの穴の広い部分を合わせるように、パネルをケースに重ねます。



青枠部分のように、パネルが背面側に2cmほどはみ出した状態になりますので、前面側にスライドさせて固定します。反対側も同じように閉じてください。

最後にパネルをネジ止めします。それぞれのパネルに2カ所ずつネジ穴があります
(9ページ参照)。

ネジはパネルを外した時のインチネジではなく、ケース付属の手回しネジ(4個)をご使用ください。



①9トラブルシューティング

パソコンが起動しない場合は、以下の点をチェックしてください。

■電源ボタンを押しても動かない場合

- ・電源ケーブルが電源とコンセントにつながっているか(48ページ参照)
- ・電源スイッチが「-(ON)」になっているか(48ページ参照)
- ・マザーボード上の電源ケーブルがしっかり接続されているか(25ページ参照)
- ・ケースのフロントパネル用ケーブルがしっかりマザーボードに接続されているか
または、PowerとResetケーブルが逆になっていないか(40ページ参照)

■電源ボタンを押すと青いランプが光り、BEEP音がするのに画面が映らない場合

- ・ディスプレイの電源が入っているか(48ページ参照)
- ・ディスプレイとパソコンがちゃんと接続されているか(48ページ参照)
- ・ビデオカードが補助電源が必要な製品の場合、補助電源ケーブルを付け忘れて他のケーブルと一緒に縛っていないか(25ページ参照)
- ・CPUが確実に取り付けられているか(14ページ参照)
- ・メモリが確実に取り付けられているか(21ページ参照)

次のページより、パソコンの基本設定やWindowsのインストールを開始します。

キーボードやマウス、ディスプレイ、電源ケーブルをつけ直してください。

※ネットワーク(LAN)ケーブルはまだ接続しないでください。

UEFI (BIOS) 設定

UEFI (BIOS) 設定 (1/5)

■UEFI (BIOS) とは

UEFIとは、マザーボードに搭載されている基本的な設定プログラムです。UEFIでは、マザーボードだけでなく、マザーボードに搭載・接続している各種パーツ(CPU・メモリ・HDD/SSD/光学ドライブ・ビデオカードなど)の動作を設定できます。

※古いマザーボードの設定プログラムはBIOSと呼び、
現在のマザーボードは機能を強化したUEFIと呼びます。

■UEFIの基本操作

本マニュアルでは、マウス・キーボードの両方を使用します。
各項目を変更する場合は、その項目名をマウスでクリック、
項目からひとつ前のメニューに戻る時は、キーボードの
「ESC」キーを押してください。

本マニュアルの設定は、ドスパラ自作パソコンキット「はじめてでも簡単に作れる!シリーズ モデル201」(ASRock製マザーボード「H270 Pro4」のWindows 10 64Bit)向けです。

マザーボードの種類やメーカーが異なる場合、項目名の表記などが変わりますのでご注意ください。

「はじめてでも簡単に作れる!シリーズ」では、モデルごとにUEFI設定を解説していますので、モデル別詳細マニュアルを必ずご覧ください。

UEFI(BIOS)設定

UEFI(BIOS)設定 (2/5)

1.時刻設定&メモリ確認



PCの電源ボタンを押したら、すぐにキーボードの「Delete」キーを押します。オレンジ色と黒色がベースのUEFI画面に入るまで押し続けてください。

最初にメモリ状況(緑枠)を確認して、「DDR4_A2・DDR4_B2」にメモリの名前が表示されているかご確認ください。

違う場所が表示or1枚しか表示しない場合は、電源を切り、21ページを確認して挿しなおしてください。

マザーボードの初期設定時刻は日本時間ではありません。

青枠部分の時計をクリックして、現在の時間に設定してください。

設定が完了したら、キーボードの「F6」を押して、白黒と青色がベースの画面(AdvancedMode)に変更します。



AdvancedMode画面の上部には、写真のように8項目の設定タブがあります。

本マニュアルで設定を変更するのは、赤枠の

「Advanced(ビデオカード搭載モデルの人のみ)」「Security」「Boot」「Exit」の4項目です。

UEFI (BIOS) 設定

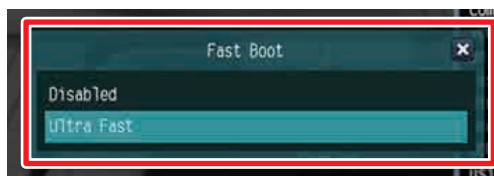
UEFI (BIOS) 設定 (3/5)

3. BootタブでのFastBoot設定



Bootタブでは、「Fast Boot」を「Ultra Fast」に変更すると、PCの起動が高速になります。

※UEFIに対応していない数年前のビデオカードなどを取り付けると、Ultra Fastに設定しても再起動時に「Disable」に戻りますのでご注意ください。

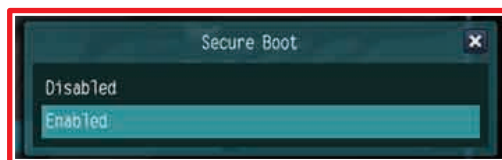


4. SecurityタブでのSecure Boot設定



Securityタブでは、「Secure Boot」を「Enable」に変更すると、PCのセキュリティを強化できます。

Enable変更を行うと、「Secure Boot」の下に「Clear Secure Boot Keys」の項目が追加されますが、こちらは変更の必要はありません。



UEFI(BIOS)設定

UEFI(BIOS)設定 (4/5)

5. ビデオカード搭載モデルで、ビデオカードとマザーボードの画面出力を同時に使用したい場合の設定

こちらは、ビデオカード搭載モデルにおいて、ビデオカードのコネクタ数以上の画面を表示したい、

もしくはマザーボードにあるアナログ出力を使用したい、という人向けの設定です。

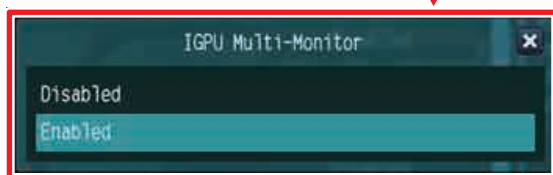
ビデオカードがないモデルの人や、ビデオカード搭載モデルでもマザーボードの出力は不要、という人は、55ページにお進みください。



「Advanced」タブにある「IGPU Multi-Monitor」を「Enable」にすると、ビデオカードとマザーボードの出力が同時に使用できます。

なお、「IGPU Multi-Monitor」の項目は画面の下の方にあるため、「Advanced」タブをクリックした時点では表示されません。

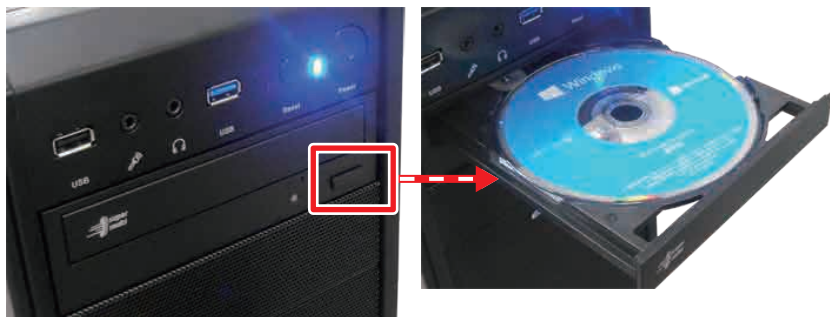
項目が表示されるまで、「↓」キーを押して画面を下にスクロールしてください。



UEFI (BIOS) 設定

UEFI (BIOS) 設定 (5/5)

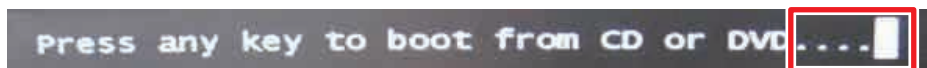
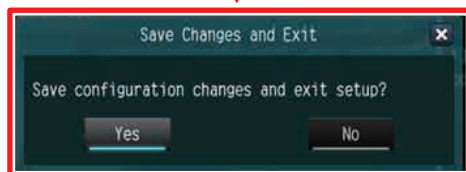
6. OSのディスクセットと設定保存・再起動



設定が完了したら、光学ドライブの**イジェクトボタン**を押して、トレイを出します。トレイにWindows 10のディスクを置き、再びイジェクトボタンを押してディスクを読み込可能な状態にします。



「Exit」タブの「Save Changes and Exit」の「Yes」をクリックすると、設定を保存してPCを再起動します。



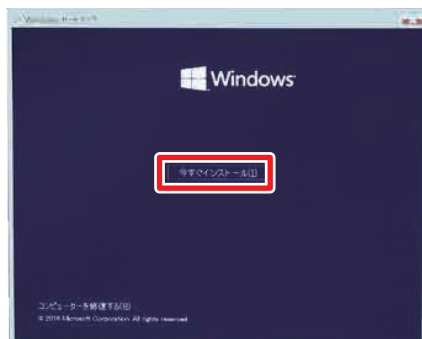
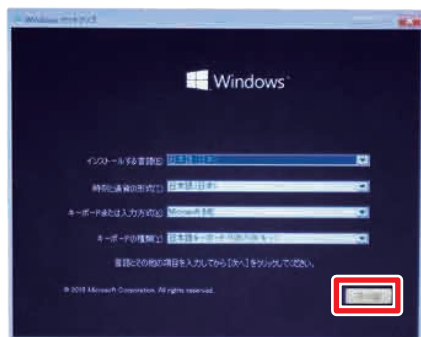
PCが再起動すると、ASRockのロゴの後にこのメッセージが表示されますので、表示したらすぐEnterかSpaceキーを押してください。これでWindows 10のインストールが開始されます。

押すのが遅れ、**赤枠部分の「.」の数**が6個になると、UEFI画面に戻ってしまいますのでご注意ください。

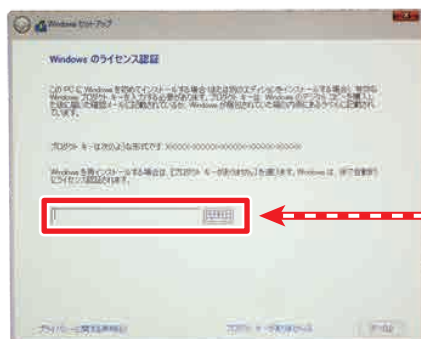
戻った場合は、電源ボタン隣の「Reset」ボタンか、キーボードの「Ctrl」「Alt」「Delete」の3つのキーを同時に押してPCを再起動してください。

OS (Windows 10 64bit) インストール

OS (Windows 10 64bit) インストール(1/4)



この画面では「次へ」と「今すぐインストール」をクリックします。

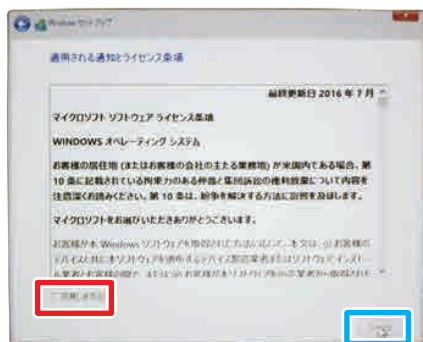


「Windowsのライセンス認証画面」では、ディスクが入っていたパッケージの赤枠部分に書いてある25文字のプロダクトキーを入力してください。

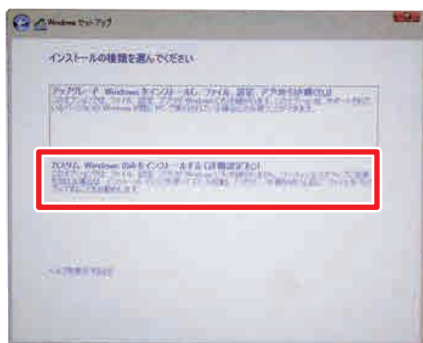
プロダクトキーは銀色のスクラッチでカバーされています。コインなどを使ってスクラッチを削る時は、力を入れすぎると下の文字も削れてしまうのでご注意ください。
OSはパーツ保証外のため、文字が読めなくなった場合は再購入いただく必要があります。

OS (Windows 10 64bit) インストール

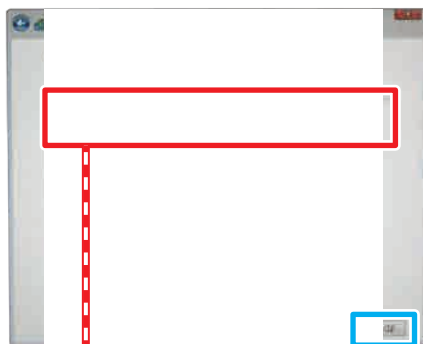
OS (Windows 10 64bit) インストール (2/4)



「適用される通知とライセンス条項」では、「**同意します**」にチェックを入れ、「**次へ**」をクリックします。



「インストールの種類を選んでください」では、「**カスタム Windowsのみをインストールする(詳細設定)**」をクリックします。

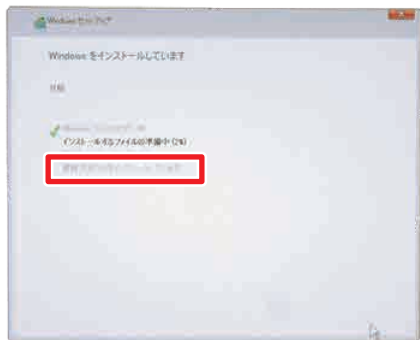


「Windowsのインストール場所を選んでください」では、Windowsをインストールしたいドライブを選び、「次へ」をクリックします。ドライブが1台の場合は、そのまま「次へ」をクリックします。



OS (Windows 10 64bit) インストール

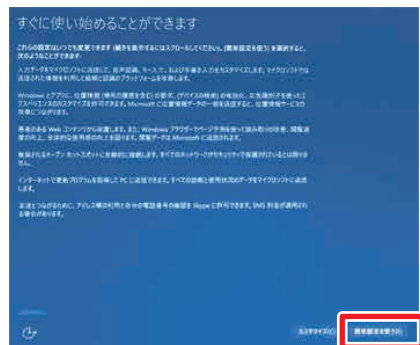
OS(Windows 10 64bit)インストール(3/4)



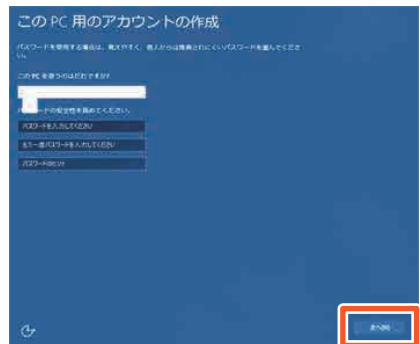
「Windowsをインストールしています」ではWindowsのファイルをHDD/SSDにインストールしています。

終了まで10～20分ほどお待ちください。

※インストール先のドライブの違いにより、インストール時間は異なります。



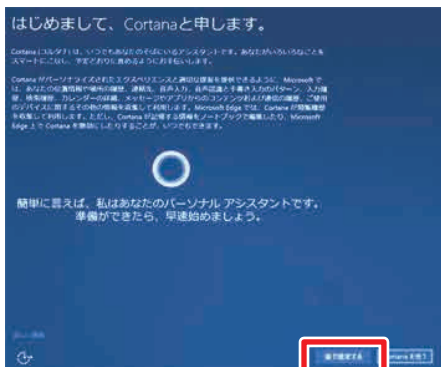
「すぐに使い始めることができます」
では、「**簡易設定を使う**」をクリック
します。



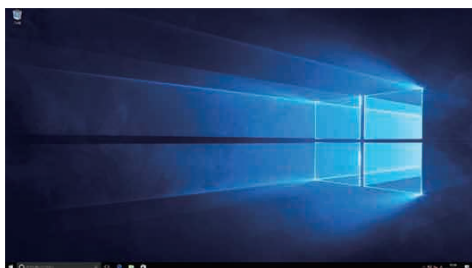
「このPC用のアカウントの作成」では、赤枠部分にアカウント(使用者が分かりやすい名前など)を入力して、「**次へ**」をクリックします。

OS (Windows 10 64bit) インストール

OS (Windows 10 64bit) インストール (4/4)



「はじめまして、Cortanaと申します」では、
「**後で設定する**」をクリックします。



2分ほど待っていただいた後、この
デスクトップ画面が表示されれば
Windows 10のインストールは完了
です。

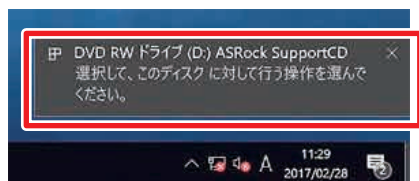
Windowsインストールが完了しても、まだネットワーク(LAN)ケーブルは接続しないでください。マザーボード付属ディスクのドライバインストールとインターネット経由の自動インストールが重なり、エラーを起こしたり一部ドライバのインストールに失敗することがあります。

ドライバインストール

ドライバインストール (1/2)

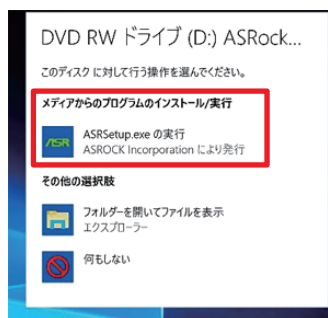


55ページのように光学ドライブのイジェクトボタンを押して、Windowsのディスクを取り出します。そして、マザーボード付属のドライバディスクをセットして、再びイジェクトボタンを押してください。



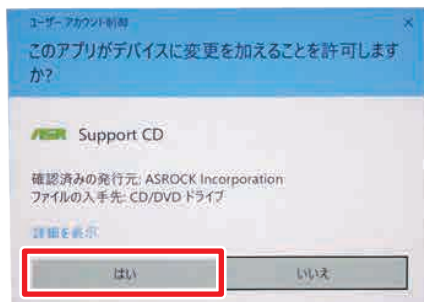
ディスクを読みこむと、デスクトップ画面の右下にこのウィンドウが表示されますので**赤枠部分**を素早くクリックしてください。

※数秒で消えてしまいますのでご注意ください。



次にデスクトップ画面の右上にこのウィンドウが表示されますので、**赤枠部分の「ASRSetup.exeの実行」**をクリックします。

※このウィンドウも数秒で消えますのでご注意ください。



次にデスクトップ画面の中央にこのウィンドウが表示されます。

赤枠部分の「はい」をクリックしてください。

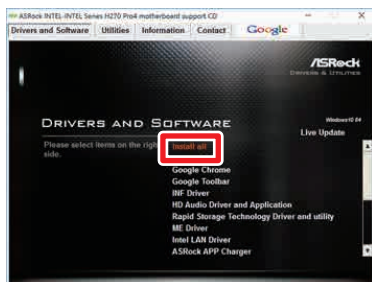
ドライバインストール

ドライバインストール (2/2)

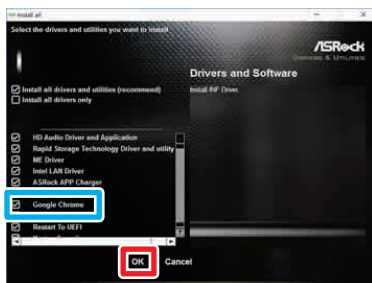


ドライバのメインメニュー画面では、**赤枠**の「**Drivers and Software**」をクリックします。

なお、インターネットブラウザの「Google Chrome」をインストールする必要が無い人は、**緑枠部分**のチェックを外しておきましょう。

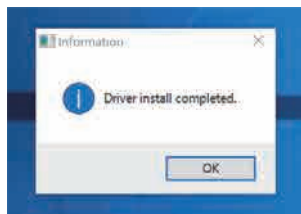


「**Drivers and Software**」画面では、**「Install all」**をクリックします。



「**OK**」をクリックするとドライバインストールが始まります。

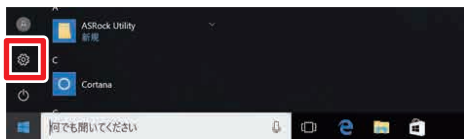
※この画面でもメインメニューと同じく「**Google Chrome**」にチェックが入っていますので、不要な人は「OK」をクリックする前にチェックを外しておきましょう。



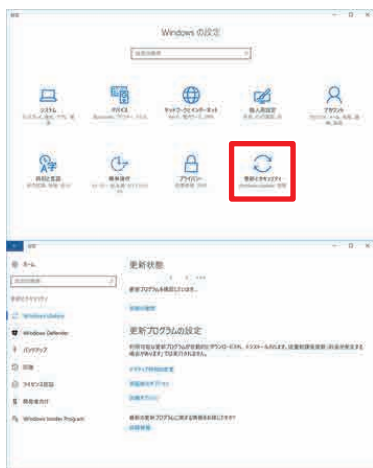
ドライバインストールは10分前後かかります。途中でPCが再起動しますが、「**Driver install completed.**」というウィンドウが表示されるまで、何も操作せずお待ちください。表示されたら「OK」をクリックして、ドライバディスクを取り出して終了です。

OS・Dirext Xアップデート

OS・Dirext Xアップデート (1/3)



マウスカーソルをデスクトップの一番左下に合わせてマウスをクリックすると、黒いウィンドウが開きます。**赤枠のマーク**をクリックしてください。



「Windowsの設定・更新状態」のウィンドウでは、それぞれ**赤枠部分**をクリックしてください。

更新状態

更新プログラムを利用できます。

- Windows Defender の定義の更新 - KB2267602 (定義 1,237,305.0)。
- Windows Defender の定義の更新 - KB2267602 (定義 1,237,77.0)。
- Windows 8.1, 10 と Windows Server 2012, 2012 R2, 2016 x64 エディション用の、Windows 意思のあるソフトウェア前提ツール - 2017 年 2 月 (KB890830)。
- Windows 10 Version 1607 for x64-based Systems 用 Adobe Flash Player のセキュリティ更新プログラム (KB4010150)。
- NVIDIA - Display - 12/29/2016 12:00:00 AM - 21.21.13.7653。

更新プログラムをダウンロードしています 1%

更新状態

次の更新プログラムをインストールするには、再起動が必要です。

- NVIDIA - Display - 12/29/2016 12:00:00 AM - 21.21.13.7653。
- x64 ベース システム用 Windows 10 Version 1607 の累積的な更新プログラム (KB2131966)。

更新状態

デバイスに、アップデート開始以外の時刻に再起動するようにスケジュールされています (アップデート時間は 8:00 ~ 17:00 です)。

今すぐ再起動

更新プログラムのチェック・ダウンロード・インストールが終わるまで、30分前後かかります。

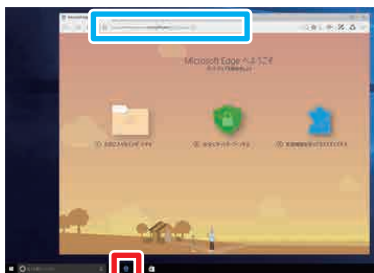
※インターネット回線の速度により、更新時間は異なります。

「**今すぐ再起動する**」のアイコンが表示されたら、クリックして再起動させてください。
これでWindowsの更新は完了です。

OS・Dirext Xアップデート

OS・Dirext Xアップデート (2/3)

DirectXとは、マイクロソフトが提供しているAPI(アプリケーションプログラムインターフェイス)のセットです。Windowsインストール直後はファイルが最新ではないため、一部のゲームなどが起動できません。下の手順に従って最新バージョンに更新しておきましょう。



デスクトップ画面の下にある**赤枠の「e」マーク**をクリックすると、ブラウザのEDGEが起動します。

青枠部分のアドレスバーに、下のアドレスを入力してEnterを押してください。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=35>



マイクロソフトのダウンロードページでは、「ダウンロード」「次へ」をクリックします。



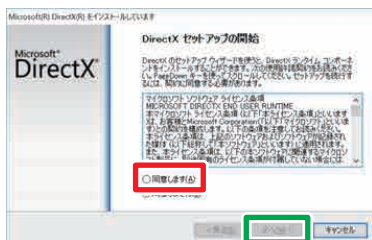
EDGEの下にダウンロードの操作メッセージがダウンロード前と完了時の2回表示されますので**赤枠部分**をクリックしてください。



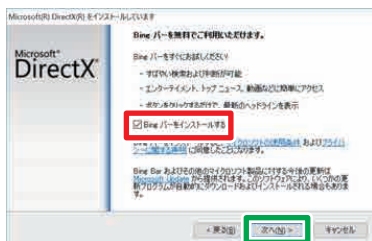
デスクトップ画面の中央にこのウィンドウが表示されたら、**赤枠部分の「はい」**をクリックしてください。

OS・Dirext Xアップデート サポート・お問い合わせ先

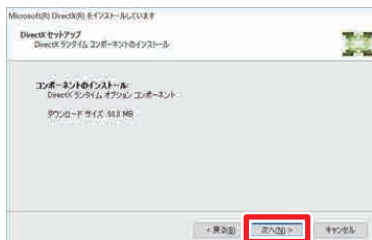
OS・Dirext Xアップデート (3/3)



セットアップメニューでは、「同意します」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



Bingバーの選択画面では、Bingバーを使うならそのまま、使わないなら**赤枠部分**のチェックを外し、「次へ」をクリックします。



コンポーネントのインストールでは、「次へ」をクリックして完了を待ちます。時間は約2分前後です。最後に「完了」をクリックすれば更新は終了です。

サポート・お問い合わせ先



Dospa
COMPUTER SHOP ドスパラ

■お困りの際はこちらまで
パソコンの故障修理・診断・増設はおまかせ
困ったときのドスパラサポート
<http://pc119.dospa.co.jp/>



■ご購入・お問合せはこちら
ドスパラ通販サイト
<http://www.dospa.co.jp/>

